科目名	小児歯科技工学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Dental Technology for Pedodontic Appliances			総時間数	15	単　位	1
学　年	1年	学　期	後期	曜　日	木	時　限	2

担当教員	平木　建史	実務者経験	歯科医師 昭和57年12月～歯科臨床に携わる、現在に至る。

学習内容	小児の成長発育を理解し、小児歯科における装置の制作方法を学ぶ。
到達目標	小児の成長発育を理解し、小児歯科における装置の制作方法を列挙できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	最新歯科技工士教本　小児歯科技工学（医歯薬出版）
留意点 備　考	

成績評価	期末試験100%で評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	小児歯科概説	齲蝕、欠損、不正咬合
2	成長発育	成長発育と年齢　　ヘルマンの咬合発育段階
3	保隙装置	クラウンループ、ディスタルシュー、リンガルアーチ、舌側弧線型保隙装置、 ナンスのホールディングアーチ
4	スペースリゲイナー 咬合誘導装置	拡大ネジとアダムスのクラスプ、咬合誘導装置と口腔習癖除去装置

科目名	有床義歯技工学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Dental Technology for Removable Dentures			総時間数	30	単　位	4
学　年	1	学　期	前期	曜　日	月	時　限	2

担当教員	湯本　華帆	実務者経験	歯科医師、令和7年3月～大阪大学歯学部附属病院にて、補綴治療を主とした治療を行っている。

学習内容	全部床義歯の基礎と臨床について学び、歯科技工士が歯科医師と連携して歯科技工業をなすうえで必要な知識を学ぶ。
到達目標	歯科医師と歯科技工士が協力し全部床義歯を製作するために必要な知識を学ぶ。

準備学習 時間外学習	教科書で予習復習を行うと好ましい
使用教材	有床義歯技工学　全国歯科技工士教育協議会　編集
留意点 備　考	

成績評価	期末試験

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	有床義歯技工学１	１【有床義歯技工学概説】２【有床義歯技工に関連のある生体についての基礎知識】
2	有床義歯技工学２	３【全部床義歯の特性】
3	有床義歯技工学３	４【全部床義歯の製作順序】
4	有床義歯技工学４	５【全部床義歯の印象採得に伴う技工作業】
5	有床義歯技工学５	６【全部床義歯の咬合採得に伴う技工作業】
6	有床義歯技工学６	７【全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成】
7	有床義歯技工学７	８【全部床義歯の人工歯排列と歯肉形成】
8	有床義歯技工学８	９【全部床義歯の埋没と重合】
9	有床義歯技工学９	１０【全部床義歯の咬合器への再装着、削合および研磨】
10	有床義歯技工学１０	まとめ

科目名	有床義歯技工学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Dental Technology for Removable Dentures			総時間数	30	単　位	4
学　年	1	学　期	後期	曜　日	月	時　限	2

担当教員	湯本　華帆	実務者経験	①歯科医師、令和7年3月～大阪大学歯学部附属病院にて、補綴治療を主とした治療を行っている。

学習内容	部分床義歯の基礎と臨床について学び、歯科技工士が歯科医師と連携して歯科技工業をなすうえで必要な知識を学ぶ。
到達目標	歯科医師と歯科技工士が協力し部分床義歯を製作するために必要な知識を学ぶ。

準備学習 時間外学習	教科書で予習復習を行うと好ましい
使用教材	有床義歯技工学　全国歯科技工士教育協議会　編集
留意点 備　考	

成績評価	期末試験

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	有床義歯技工学１	１０【部分床義歯の特徴】
2	有床義歯技工学２	１１【部分床義歯の製作順序】　１２【部分床義歯の構成要素】
3	有床義歯技工学３	１３【部分床義歯の印象採得に伴う技工作業】
4	有床義歯技工学４	１４【部分床義歯の咬合採得に伴う技工作業】
5	有床義歯技工学５	１５【クラスプの製作】　１６【バーの製作】
6	有床義歯技工学６	１７【部分床義歯の人工歯排列、削合、歯肉形成】
7	有床義歯技工学７	１８【部分床義歯の埋没と重合】
8	有床義歯技工学８	１９【部分床義歯の咬合調整と研磨】
9	有床義歯技工学９	２０【修理、リベース、リライン】
10	有床義歯技工学１０	２１【オーバーデンチャー、金属床義歯、その他】

科目名	歯冠修復技工学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations			総時間数	30	単　位	4
学　年	1	学　期	前期	曜　日	金	時　限	2

担当教員	西本　廉	実務者経験	歯科医師 令和6年4月～大阪大学附属病院にて、歯科臨床に携わっている。

学習内容	歯冠修復の基礎と臨床について学び、歯科技工士が歯科医師と連携して歯科技工業をなすうえで必要な知識を学ぶ。
到達目標	歯科医師と歯科技工士が協力し歯冠修復物を製作するために必要な知識を学ぶ。

準備学習 時間外学習	教科書で予習復習を行うと好ましい
使用教材	歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会　編集
留意点 備　考	

成績評価	期末試験

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	歯冠修復技工学１	1【歯冠修復技工学概説】　意義と目的、臨床的価値
2	歯冠修復技工学２	2【クラウンの概要と種類】　部分被覆冠、全部被覆冠、継続歯
3	歯冠修復技工学３	3【ブリッジの概要と種類】　ブリッジの特徴、構成要素、種類
4	歯冠修復技工学４	4【クラウンおよびブリッジの具備用件】生物学的用件、構造力学的用件、科学的用件
5	歯冠修復技工学５	5【クラウンおよびブリッジの製作順序】印象採得、個人トレー
6	歯冠修復技工学６	6【クラウンおよびブリッジの製作順序】次第築造、テンポラリークラウン・ブリッジ
7	歯冠修復技工学７	7【クラウンおよびブリッジの製作順序】色調選択、作業用模型、咬合器装着
8	歯冠修復技工学８	8【クラウンおよびブリッジの製作順序】ワックスアップ、埋没、鋳造作業
9	歯冠修復技工学９	9【クラウンおよびブリッジの製作順序】適合調整、研磨、試適・仮着・合着
10	歯冠修復技工学１０	10【クラウンおよびブリッジの製作順序】レジン前装、陶材の築盛・焼成

科目名	歯冠修復技工学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations			総時間数	30	単　位	4
学　年	1	学　期	後期	曜　日	金	時　限	2

担当教員	西本　廉	実務者経験	歯科医師 令和6年4月～大阪大学附属病院にて、歯科臨床に携わっている。

学習内容	歯冠修復の基礎と臨床について学び、歯科技工士が歯科医師と連携して歯科技工業をなすうえで必要な知識を学ぶ。
到達目標	歯科医師と歯科技工士が協力し歯冠修復物を製作するために必要な知識を学ぶ。

準備学習 時間外学習	教科書で予習復習を行うと好ましい
使用教材	歯冠修復技工学　全国歯科技工士教育協議会　編集
留意点 備　考	

成績評価	期末試験

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	歯冠修復技工学１	１【部分被覆冠】　インレー、アンレー、3/4クラウン、4/5クラウン、7/8クラウン
2	歯冠修復技工学２	２【部分被覆冠】　プロキシマルハーフクラウン、ピンレッジ、ラミネートベニヤ
3	歯冠修復技工学３	３【全部被覆冠】　全部金属冠、前装冠
4	歯冠修復技工学４	４【全部被覆冠】　ジャケットクラウン
5	歯冠修復技工学５	５【継続歯】　適応用途、支台歯形態
6	歯冠修復技工学６	６【ブリッジ】　支台装置、ポンティック
7	歯冠修復技工学７	７【ブリッジ】　連結法、ブリッジの製作法
8	歯冠修復技工学８	８【インプラント】　インプラントの概要
9	歯冠修復技工学９	９【インプラント】　インプラントの種類、上部構造製作技工の注意点
10	歯冠修復技工学１０	１０　まとめ

科目名	歯冠修復技工学実習１			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations 1			総時間数	160	単　位	5
学　年	１年	学　期	前後期	曜　日	火・水	時　限	2

担当教員	①高須賀千紘 ②松山和也 ③神浦　普	実務者経験	②平成2年5月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ③平成30年4月～歯科技工所を開設、現在に至る。

学習内容	医療分野における歯科医療の重要性、歯科医療における歯科技工の役割を理解し、専門基礎分野と専門分野における学習を的確に行うために、それらに必要な基礎的事項を修得する。 知識・技術を歯科臨床の場面に適用し、理論と実践を結び付けて理解できる能力と技術力を習得する。
到達目標	各種の歯冠修復物に関する知識を学習し、歯冠修復物製作の技術を習得する。 全部金属冠、支台築造体、インレー、アンレー、テンポラリークラウンを製作することができる。

準備学習 時間外学習	教科書『歯冠修復技工学』（医歯薬出版）におけるクラウンとブリッジの具備要件や製作を予習する。
使用教材	教科書『歯冠修復技工学』（医歯薬出版），『歯科技工学実習トレーニング本』（医歯薬出版），　配布プリント
留意点 備　考	歯の形を覚えるために、教科書『口腔･顎顔面解剖学』と専門雑誌『歯科技工』（医歯薬出版）・『QDT』（ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版）の掲載写真等を参考に実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	完成作品の提出後、前期後期実技試験を行い評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	模型材の注入	歯科技工士の業務を説明できる。印象材の種類と特徴を列挙できる。印象方法を説明できる。模型材の注入ができる。
2	作業用模型の製作	歯科技工に必要な作業模型の製作材料の種類と特徴を説明できる。作業用模型を製作できる。作業用模型の意義と目的を説明できる。
3	作業用模型の製作	歯科技工に必要な作業模型の製作材料の種類と特徴を説明できる。クラウンの製作順序を説明できる。作業用模型の製作法を説明できる。咬合平面を説明できる。
4	作業用模型の製作	クラウンの製作順序を説明できる。作業用模型の製作ができる。
5	作業用模型の製作	作業用模型の種類を列挙できる。作業用模型の製作法を説明できる。作業用模型製作の台付け移行部の修正ができる。
6	歯型の分割	クラウンの製作順序を説明できる。作業用模型を製作できる。鋸を使用し歯型の分割ができる。
7	歯型のトリミング	作業用模型を製作できる。歯型の辺縁形態を説明できる。歯型のトリミングができる。
8	咬合器へ装着	咬合器の使用手順と調節方法を説明できる。咬合器に作業用模型を装着できる。
9	ワックスアップ	歯のスケッチにより歯の形態を正確に描写できる。歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を理解しCADソフトウェアが扱える。全部金属冠のワックスアップができる。
10	ワックスアップ	歯の形態を説明できる。クラウンの製作順序を説明できる。 全部金属冠のワックスアップができる。
11	ワックスアップ	機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を説明できる。ワックスアップの種類と方法を説明できる。全部金属冠のワックスアップができる。
12	ワックスアップ	下顎の基本運動の種類と特徴を説明できる。歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を概説できる。全部金属冠のワックスアップができる。
13	ワックスアップ	咬頭嵌合位と偏心位の咬合接触を説明できる。歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を理解しCADソフトウェアが扱える。全部金属冠の咬合面ワックスアップができる。
14	辺縁の再圧接	全部金属冠のワックスアップができる。辺縁の再圧接ができる。隣接接触面の位置・形状が説明できる。
15	埋没	埋没材の種類・性質、埋没操作を説明できる。 スプルーの植立・埋没ができる。

科目名	歯冠修復技工学実習１			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations 1			総時間数	160	単　位	5
学　年	１年	学　期	前後期	曜　日	火・水	時　限	2

授業計画【テーマ・内容･目標】		
16	鋳造	合金の融解と鋳込み方法を説明できる。 全部金属冠の鋳造・内外面の調整ができる。
17	歯型への試適	切削・研削・研磨用材料と器械の取り扱い方を説明できる。 全部金属冠の歯型への試適・隣接面・咬合面の調整ができる。
18	実技模擬試験	【前期実技模擬①試験】 歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。
19	実技模擬試験講評	【前期実技模擬①試験講評】正しい言葉遣いで会話できる。適切な伝達法を選択できる。歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。
20	切削・研削・中研磨	切削・研削・研磨用材料と器械の取り扱い方を説明できる。 全部金属冠の切削・中研磨ができる。
21	研磨	補綴装置の表面仕上げの意義と目的を説明できる。 研磨の意義と目的を説明できる。全部金属冠の研磨ができる。
22	作品提出	クラウンの製作順序を説明できる。研磨法を説明できる。全部金属冠の研磨ができる。 自己点検自己評価表の作成。
23	実技模擬試験・講評	【前期実技模擬②試験・講評】正しい言葉遣いで会話できる。適切な伝達法を選択できる。歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。
24	前期実技試験講評	【前期実技試験講評】適切な伝達法を選択できる。歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。作業用模型を製作できる。
25	前期実技試験講評	【前期実技試験講評】適切な伝達法を選択できる。歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。作業用模型製作の台付け移行部の修正ができる。
26	作業用模型の製作	作業用模型製作の模型の調整及び歯型の分割ができる。
27	作業用模型の製作	咬合器の使用手順と調節方法を説明できる。作業用模型製作の歯型トリミングができる。咬合器に作業用模型を装着できる。
28	ワックスアップ	歯のスケッチにより歯の形態を正確に描写できる。歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を理解しCADソフトウェアが扱える。全部金属冠のワックスアップができる。
29	ワックスアップ	歯の形態を説明できる。クラウンの製作順序を説明できる。 全部金属冠のワックスアップができる。
30	ワックスアップ	機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を説明できる。ワックスアップの種類と方法を説明できる。全部金属冠のワックスアップができる。
31	ワックスアップ	咬頭嵌合位と偏心位の咬合接触を説明できる。 全部金属冠の咬合面ワックスアップができる。
32	辺縁の再圧接	辺縁の再圧接ができる。隣接接触面の位置・形状が説明できる。リムーバルノブの説明ができる。
33	埋没	埋没材の種類・性質、埋没操作を説明できる。 スプルーの植立・埋没ができる。
34	鋳造	合金の融解と鋳込み方法を説明できる。 全部金属冠の鋳造・内外面の調整ができる。
35	歯型への試適	切削・研削・研磨用材料と器械の取り扱い方を説明できる。 全部金属冠の歯型への試適・隣接面・咬合面の調整ができる。
36	切削・研削・中研磨	切削・研削・研磨用材料と器械の取り扱い方を説明できる。 全部金属冠の切削・中研磨ができる。
37	研磨	補綴装置の表面仕上げの意義と目的を説明できる。 クラウンの製作順序を説明できる。全部金属冠の研磨ができる。
38	歯科技工指示書作成	歯科技工指示書を作成できる。部分被覆冠の種類と特徴を列挙できる。支台築造の意義と目的を説明できる。インレーアンレーの製作順序を説明できる。支台築造の製作法を説明できる。
39	ワックスアップ	歯科技工士の業務を説明できる。齲蝕発症の要因を列挙できる。生物学的要件を説明できる。インレーアンレーのワックスアップができる。支台築造体のワックスアップができる。

科目名	歯冠修復技工学実習１			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations 1			総時間数	160	単　位	5
学　年	１年	学　期	前後期	曜　日	火・水	時　限	2

授業計画【テーマ・内容･目標】		
40	ワックスアップ	メタルコアの基本外形，窩洞形態と構成要素を説明できる。ポスト部製作方法が説明できる，分割コア製作方法が説明できる。
41	辺縁の再圧接	支台築造の種類と使用材料を列挙できる。辺縁の再圧接ができる。隣接接触面の位置・形状が説明できる。
42	ワックスアップ	部分被覆冠と支台築造のワックスアップができる。
43	埋没	埋没材の種類・性質、埋没操作を説明できる。 部分被覆冠と支台築造体のスプルーの植立・埋没ができる。
44	鋳造	合金の融解と鋳込み方法を説明できる。 部分被覆冠と支台築造体の鋳造・内外面の調整ができる。
45	切削・研削・中研磨	切削・研削・研磨用材料と器械の取り扱い方を説明できる。 部分被覆冠と支台築造体の歯型への試適・隣接面・咬合面の調整ができる。
46	研磨・作品提出	補綴装置の表面仕上げの意義と目的を説明できる。部分被覆冠の研磨ができる。インレーアンレーを製作できる。支台築造体を製作できる。自己点検自己評価表の作成。
47	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬①試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第一大臼歯のワックスアップができる。
48	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬②試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第一大臼歯のワックスアップができる。
49	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬③試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第一大臼歯のワックスアップができる。
50	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬④試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第一大臼歯のワックスアップができる。
51	後期実技試験講評	【後期実技試験講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第一大臼歯のワックスアップができる。
52	テンポラリークラウン製作	研究用模型の使用目的を説明できる。テンポラリークラウン・ブリッジの使用材料と製作法を説明できる。テンポラリークラウンを製作できる。仮想支台歯形成ができる。
53	テンポラリークラウン製作	テンポラリークラウン製作における常温重合レジンを取り扱うことができる。テンポラリークラウンの形態修正ができる。
54	テンポラリークラウン製作	補綴装置の仕上げの意義と目的を説明できる。 テンポラリークラウンを製作できる。研磨ができる。

科目名	歯の解剖学実習 1			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental anatomy 1			総時間数	80	単　位	2
学　年	1	学　期	前期･後期	曜　日	木	時　限	2

担当教員	①倉田浩二 ②鳥岡あゆみ	実務者経験	②平成19年4月～歯科技工臨床に携わる、現在に至る。

学習内容	歯の形態や機能、その周囲の組織を解剖的事項から、歯型彫刻･デッサンにより理解をする。
到達目標	歯の形態的特徴の理解と表現

準備学習 時間外学習	実習で使用する石膏棒の作製
使用教材	教科書『歯のデッサンと歯型彫刻』(関西北陸地区歯科技工士学校連絡協議会 編集) 配布プリント　歯型彫刻学習用拡大模型14本
留意点 備　考	副教材として『口腔・顎顔面解剖学』（全国歯科技工士教育協議会 編集）の教科書を持参して受講することが望ましい。

成績評価	学期末の実技試験により評価

授業計画【内容･目標】		
1	下顎右側第一大臼歯	方向用語および歯牙名の解説　下顎右側第一大臼歯 各部名称説明 ノギスの使用方法　下顎右側第一大臼歯 各部の計測
2	下顎右側第一大臼歯	各部名称小テスト　下顎右側第一大臼歯1.5倍大サイズ彫刻 多面体カット法説明 石膏棒に外形記入　隣接面・頬舌面 切り出し完了
3	下顎右側第一大臼歯	下顎右側第一大臼歯 1.5倍大サイズ彫刻 固有咬合面・外形多面体ライン記入　外形多面体切り出し完了
4	下顎右側第一大臼歯	下顎右側第一大臼歯 1.5倍大サイズ彫刻 外形仕上げ　咬合面多面体カット　咬合面仕上げ　表面仕上げ
5	上顎右側第一大臼歯	下顎右側第一大臼歯 1.5倍大サイズ彫刻 提出 上顎右側第一大臼歯 各部名称説明 各部の計測 石膏棒に外形記入
6	上顎右側第一大臼歯	各部名称小テスト　上顎右側第一大臼歯1.5倍大サイズ彫刻 石膏棒に外形記入　隣接面・頬舌面 切り出し完了
7	上顎右側第一大臼歯	上顎右側第一大臼歯1.5倍大サイズ彫刻 固有咬合面・外形多面体ライン記入　外形多面体切り出し完了
8	上顎右側第一大臼歯	上顎右側第一大臼歯1.5倍大サイズ彫刻 外形仕上げ　咬合面多面体カット　咬合面仕上げ　表面仕上げ
9	下顎右側第一大臼歯	上顎右側第一大臼歯1.5倍大サイズ彫刻 提出 下顎右側第一大臼歯 等倍大彫刻 完成まで（各行程チェック）
10	下顎右側第一大臼歯	模擬試験 下顎右側第一大臼歯等倍大彫刻（120分）
11	下顎右側第一大臼歯	模擬試験作品講評 下顎右側第一大臼歯等倍大彫刻　（各項目ABC三段階評価 採点結果表配布）
12	下顎右側第一大臼歯	前期実技試験講評
13	上顎右側中切歯	上顎右側中切歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻
14	上顎右側側切歯	上顎右側側切歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻
15	上顎右側犬歯	上顎右側犬歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻

科目名	歯の解剖学実習 1			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental anatomy 1			総時間数	80	単　位	2
学　年	1	学　期	前期･後期	曜　日	木	時　限	2

授業計画【内容･目標】		
16	下顎右側犬歯	下顎右側犬歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻
17	上顎右側第一小臼歯	上顎右側第一小臼歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻
18	上顎右側第二小臼歯	上顎右側第二小臼歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻
19	下顎右側第一小臼歯	下顎右側第一小臼歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻
20	下顎右側第二小臼歯	下顎右側第二小臼歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻
21	下顎右側第二大臼歯	下顎右側第二大臼歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻
22	上顎右側第二大臼歯	上顎右側第二大臼歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻
23	上顎右側中切歯	上顎右側中切歯等倍大彫刻（60分）終了後作品講評
24	上顎右側第一大臼歯	上顎右側第一大臼歯等倍大彫刻（60分）終了後作品講評
25	上顎右側中切歯 上顎右側第一大臼歯	模擬試験 上顎右側中切歯･上顎右側第一大臼歯等倍大彫刻（120分）
26	上顎右側中切歯 上顎右側第一大臼歯	模擬試験作品講評　上顎右側中切歯･上顎右側第一大臼歯等倍大 （各項目ABC三段階評価 採点結果表配布）
27	上顎右側中切歯 上顎右側第一大臼歯	後期実技試験講評
28	下顎右側中切歯 下顎右側側切歯	下顎右側中切歯･下顎右側側切歯　各部名称･特徴説明　等倍大彫刻

科目名	有床義歯技工学実習 1			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Removable Dentures 1			総時間数	200	単　位	6
学　年	1	学　期	前期	曜　日	月・水・木	時　限	2

担当教員	①大石直之 ②石田真里 ③中本千草 ④川本泰世	実務者経験	③平成1年3月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ④平成28年4月～歯科技工所に勤務し、現在に至る。

学習内容	総義歯、部分床義歯の特色を理解し、基本的な技工操作を習得する。
到達目標	常温重合レジンを用いて個人トレー、基礎床を製作し咬合床を完成する。 人工歯排列、歯肉形成、埋没、加熱重合レジンを用いて重合し、総義歯を研磨完成する。 サベイングをもとに維持装置(クラスプ)を製作し、一連の工程を経て部分床義歯を完成する。

準備学習 時間外学習	各製作工程の目的を確認し、使用材料、器具の使用方法を復習する。 製作方法を復習するとともに、自己作品と完成作品を比較し、形態や精度の違いを確認する。
使用教材	『有床義歯技工学』最新歯科技工士教本、歯科技工学実習トレーニング(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	教本の掲載写真や図、教官の見本作品を参考に各工程での完成をイメージして実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	提出作品、前後期の実技試験で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	全部床義歯	上顎・個人トレー製作　設計～リリーフ～ブロックアウト～スペーサー圧接・溶着
2	全部床義歯	上顎・個人トレー製作　上顎レジン圧接～ハンドル取り付け～形態修正
3	全部床義歯	上顎・個人トレー製作　下顎レジン圧接～ハンドル取り付け～形態修正
4	全部床義歯	上顎・咬合床製作　設計～リリーフ～ブロックアウト
5	全部床義歯	上顎・咬合床製作　基礎床の製作
6	全部床義歯	上下顎・咬合床の製作　咬合提の製作
7	全部床義歯	上下顎・咬合床の製作
8	全部床義歯	上下顎・咬合床　咬合器装着
9	全部床義歯	上顎前歯　人工歯排列
10	全部床義歯	上顎前歯　人工歯排列完了　／　上顎臼歯　人工歯排列
11	全部床義歯	上顎　人工歯排列完了
12	全部床義歯	上顎唇頬側　歯肉形成
13	全部床義歯	上顎口蓋側　歯肉形成～上顎歯肉形成完了
14	全部床義歯	下顎左側・臼歯排列
15	全部床義歯	下顎右側・臼歯排列～臼歯排列完了

科目名	有床義歯技工学 1			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Removable Dentures 1			総時間数	200	単　位	6
学　年	1	学　期	前期	曜　日	月・水・木	時　限	2

回数	授業計画【内容･目標】	
16	全部床義歯	人工歯排列・模擬試験(60分)→個人講評→修正完了
17	全部床義歯	歯肉形成・模擬試験(60分)→個人講評→修正完了
18	全部床義歯	模擬試験②　排列～形成
19	全部床義歯	模擬試験②　個人講評　／　本試用 上顎咬合床 咬合器装着完了
20	全部床義歯	前期実技試験　総評／個人講評
21	全部床義歯	下顎前歯排列完了
22	全部床義歯	咬合調整　中心咬合位、偏心咬合位調整完了
23	全部床義歯	下顎 唇側 歯肉形成
24	全部床義歯	下顎 舌側 歯肉形成
25	全部床義歯	上顎 蝋義歯埋没（ＦＲＰフラスコ）

科目名	有床義歯技工学 1			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Removable Dentures 1			総時間数	200	単　位	6
学　年	1	学　期	後期	曜　日	月～金	時　限	2

担当教員	①大石直之 ②中本千草 ③川本泰世	実務者経験	②昭和59年2月～歯科技工所を開設し、現在に至る。 ③平成28年4月～歯科技工所に勤務し、現在に至る。

学習内容	総義歯、部分床義歯の特色を理解し、基本的な技工操作を習得する。
到達目標	常温重合レジンを用いて個人トレー、基礎床を製作し咬合床を完成する。 人工歯排列、歯肉形成、埋没、加熱重合レジンを用いて重合し、総義歯を研磨完成する。 サベイングをもとに維持装置(クラスプ)を製作し、一連の工程を経て部分床義歯を完成する。

準備学習 時間外学習	各製作工程の目的を確認し、使用材料、器具の使用方法を復習する。 製作方法を復習するとともに、自己作品と完成作品を比較し、形態や精度の違いを確認する。
使用教材	『有床義歯技工学』最新歯科技工士教本、歯科技工学実習トレーニング(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	教本の掲載写真や図、教官の見本作品を参考に各工程での完成をイメージして実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	提出作品、前後期の実技試験で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	全部床義歯	上顎・脱蝋～重合
2	全部床義歯	下顎 蝋義歯の完成・提出
3	全部床義歯	上顎 割り出し
4	全部床義歯	上顎 荒研磨
5	全部床義歯	上顎 中研磨
6	全部床義歯	上顎 仕上げ研磨　完成・提出
7	部分床義歯	ペーパーデザイン～サベイング～模型上に設計
8	部分床義歯	ブロックアウト　／　上顎　咬合器装着
9	部分床義歯	下顎　咬合器装着　／　試験用模型　咬合器装着～リリーフ
10	部分床義歯	コンビネーションワイヤークラスプ屈曲
11	部分床義歯	模擬試験①　／　講評①～修正
12	部分床義歯	模擬試験②　／　講評②～修正
13	部分床義歯	後期試験・個人講評　／　ワイヤークラスプ屈曲、エーカースクラスプWAXup
14	部分床義歯	エーカースクラスプWAXup
15	部分床義歯	スプルーイング～埋没①

科目名	有床義歯技工学 1			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Removable Dentures 1			総時間数	200	単　位	6
学　年	1	学　期	後期	曜　日	月～金	時　限	2

回数	授業計画【内容･目標】	
16	部分床義歯	鋳造①　／　スプルーイング～埋没②
17	部分床義歯	鋳造②　／　※２年生実習用　咬合床、部分床義歯作業用模型 製作開始
18	部分床義歯	割り出し～サンドブラスト処理～荒研磨
19	部分床義歯	キャスト鉤の形態修正・適合完了～中研磨～即時重合レジンで連結
20	部分床義歯	維持装置仕上げ研磨～即時重合レジンで連結 維持装置をWax&レジンで模型に固定～Wax床の圧接
21	部分床義歯	人工歯排列完了　／　歯肉形成
22	部分床義歯	歯肉形成完了　／　咬合調整完了
23	部分床義歯	1次～２次～３次埋没完了
24	部分床義歯	流蝋～重合
25	部分床義歯	割り出し～荒研磨～中研磨仕上げ研磨【完成・提出】

科目名	顎口腔機能学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Stomatognathic Function Science			総時間数	15	単　位	1
学　年	2	学　期	前期	曜　日	月、金	時　限	2

担当教員	①湯本 華帆 ②西本　廉	実務者経験	①歯科医師、令和6年4月～大阪大学歯学部附属病院にて歯科臨床に携わっている。 ②歯科医師、令和6年4月～大阪大学歯学部附属病院にて歯科臨床に携わっている。

学習内容	歯科医師と歯科技工士が協力し生体に調和した形態で機能する補綴物を製作するために必要な、顎口腔機能及び顎口腔系を構成する生体の組織について学ぶ。
到達目標	顎口腔機能及び顎口腔系の構成について理解し、臨床の場で歯科医師との連携に実際に活用できる。 歯科技工士国家試験に対応できる。

準備学習 時間外学習	解剖学の予習を行うと好ましい。
使用教材	教科書「顎口腔機能学」（全国歯科技工士教育協議会編集）及び配布プリント
留意点 備　考	特記事項なし

成績評価	小テスト30%＋期末テスト70%

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	【１顎口腔系の形態】 【２顎口腔系の機能】	歯と歯列、顎口腔系を構成する骨･筋、顎関節 顎口腔系の機能と形態の維持、基準点･基準面、咬合に関する平面、下顎位
2	【３下顎位】 【４下顎運動】	下顎位 下顎運動の種類、下顎の基本運動･限界運動･機能運動
3	【６咬合器】 【７咬合検査と顎機能障害】	咬合器の使用目的、分類、フェイスボウトランスファー、咬合採得 咬合検査、顎機能障害
4	【５歯の接様式】	歯の形態と機能、咬頭嵌合位における咬合接触
5	【５歯の接様式】	偏心位における咬合接触、咬合干渉

科目名	矯正歯科技工学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Dental Technology for Orthodontic Appliances			総時間数	15	単　位	1
学　年	２年	学　期	前期	曜　日	木	時　限	2

担当教員	平木　建史	実務者経験	歯科医師 昭和57年12月～歯科臨床に携わり、現在に至る。

学習内容	矯正歯科治療の意義を理解し、矯正装置の製作方法を学ぶ。
到達目標	矯正歯科治療の意義を理解し、矯正装置の製作方法を列挙できる。

準備学習 時間外学習	
使用教材	最新歯科技工士教本　矯正歯科技工学（医歯薬出版）
留意点 備　考	

成績評価	期末試験100%で評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	矯正歯科技工学の意義と目的	矯正歯科治療とは
2	正常咬合と不正咬合（咬合異常）	正常咬合、不正咬合（咬合異常）、アングルの不正咬合の分類
3	矯正装置の必要条件と分類	矯正装置の必要条件、矯正装置の分類
4	矯正装置の製作法	舌側弧線装置、ナンスのホールディングアーチ　咬合挙上板、固定式拡大装置 ホーレーの保定装置、

科目名	顎口腔機能学実習			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Stomatognathic Function science			総時間数	45	単　位	1
学　年	2	学　期	前期・後期	曜　日	水	時　限	2

担当教員	①石田真里 ②田中利哉	実務者経験	②歯科技工士　平成10年1月～歯科技工所を開設、現在に至る。

学習内容	あらゆる動きの顎運動や咬み合わせの状態、口腔内の機能を理解し、調和のとれた補綴物作製に応用する。
到達目標	前期：半調節性咬合器を使用して各自の口腔模型をフェイスボウで装着し、チェックバイト法で顆路の調節を行う。 後期：下顎片側臼歯部の石膏を削除し、コーンテクニックを用いて１歯対１歯咬合のワックスアップを行う。

準備学習 時間外学習	各製作工程の目的を確認し、使用材料、器具の使用方法を復習する。 各自の口腔模型を使用して実習するので、顆路や歯列模型、咬合状態を観察する。
使用教材	『顎口腔機能学』最新歯科技工士教本、目で見る咬合の基礎知識(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	特記事項なし

成績評価	実習内容の復習テストで評価する。

回数	日程	時間数	授業計画【内容･目標】
1	フェイスボウ		実習講義　/　上下歯列の印象採得～台付け
2	フェイスボウ		スプリットキャスト作製　/　バイトフォークに咬合面印記
3	フェイスボウ		フェイスボウトランスファー
4	フェイスボウ		下顎模型の咬合器装着
5	フェイスボウ		前方チェックバイト、側方チェックバイト採得
6	フェイスボウ		矢状顆路傾斜角、側方顆路傾斜角の調節　/　顎口腔カルテの作成
7	フェイスボウ		実習内容の復習テスト　/　解答・解説
8	コーン テクニック		実習講義　/　下顎片側臼歯部を削除、ワックスバーの焼付け
9	コーン テクニック		ワックスアップ①咬頭頂
10	コーン テクニック		ワックスアップ②フィッシュマウス
11	コーン テクニック		ワックスアップ③三角隆線　/　④頬舌側面隆線
12	コーン テクニック		ワックスアップ⑤隆線間の間隙埋め
13	コーン テクニック		ワックスアップ⑥外形仕上げ
14	コーン テクニック		ワックスアップ⑦トーマスノッチ付与　/　咬頭嵌合位、臼歯離開咬合を確認
15	コーン テクニック		実習内容の復習テスト　/　解答・解説

科目名	有床義歯技工学実習 2			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Removable Dentures 2			総時間数	60	単　位	2
学　年	2	学　期	前期	曜　日	火曜日	時　限	2

担当教員	①石田真里 ②前田博規	実務者経験	②歯科技工士　平成15年1月～歯科技工所を開設、現在に至る。

学習内容	総義歯の基本的な排列方法を習得する。
到達目標	人工歯排列、歯肉形成、口蓋ヒダ付与までを、制限時間（３時間）内に完成する。

準備学習 時間外学習	過去の基本実習の製作方法を復習するとともに、作品の修正と反復トレーニングを行う。
使用教材	『有床義歯技工学』最新歯科技工士教本、歯科技工学実習トレーニング(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	教本の掲載写真や図、教官の見本作品を参考に各工程での完成をイメージして実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	提出作品、実技試験で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	全部床義歯	実習講義　/　上顎前歯排列
2	全部床義歯	上顎臼歯排列
3	全部床義歯	下顎臼歯排列
4	全部床義歯	下顎前歯排列
5	全部床義歯	歯頸部ワックス盛り上げ　/　Ｓ字隆起、レトロモラーパッド付与
6	全部床義歯	上顎・唇頬側　歯肉形成
7	全部床義歯	下顎・唇頬側　歯肉形成
8	全部床義歯	口蓋ヒダ付与
9	全部床義歯	第１回模試（人工歯排列）　/　個人講評、手直し修正
10	全部床義歯	第１回模試（歯肉形成）　/　手直し修正
11	全部床義歯	第２回模試（人工歯排列、歯肉形成、口蓋ヒダ付与）
12	全部床義歯	第２回模試個人講評、人工歯排列、歯肉形成の手直し修正
13	全部床義歯	第２回模試個人講評、人工歯排列、歯肉形成の手直し修正
14	全部床義歯	前期実技試験用の咬合床咬合器装着、人工歯の準備
15	全部床義歯	前期試験結果の講評

科目名	有床義歯技工学実習 3			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Removable Dentures 3			総時間数	40	単　位	1
学　年	2	学　期	前後期	曜　日	木	時　限	2

担当教員	①大石直之 ②船渡善夫	実務者経験	②歯科技工士　昭和58年1月～歯科技工所を開設、平成2年に引退し現在に至る。

学習内容	部分床義歯の大連結子、維持装置の製作方法、および排列方法を習得する。
到達目標	常温重合レジンを用いて個人トレー、基礎床を製作し咬合床を完成する。 サベイングをもとに大連結子(リンガルバー)、維持装置を(クラスプ)を一連の工程を経て完成する。

準備学習 時間外学習	各製作工程の目的を確認し、使用材料、器具の使用方法を復習する。 製作方法を復習するとともに、自己作品と完成見本作品を比較し、形態や適合精度の違いを確認する。
使用教材	『有床義歯技工学』最新歯科技工士教本、歯科技工学実習トレーニング(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	教本の掲載写真や図、教官の見本作品を参考に各工程での完成をイメージして実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	提出作品、後期の実技試験で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	部分床義歯	ペーパーデザイン～サベイング～作業用模型に設計
2	部分床義歯	ブロックアウト～リリーフ
3	部分床義歯	咬合床(基礎床＋咬合堤)製作～咬合器装着
4	部分床義歯	リンガルバー&双子鉤 WAXup　※ ｺﾝﾋﾞﾈｰｼｮﾝﾜｲﾔｰ屈曲
5	部分床義歯	スプルーイング～埋没
6	部分床義歯	リンガルバー&双子鉤鋳造　／　エーカース、コンビ舌側 WAXup～埋没
7	部分床義歯	エーカース、コンビ舌側　鋳造
8	部分床義歯	リンガルバー双子鉤、エーカース、コンビ舌側割り出し～ｻﾝﾄﾞﾌﾞﾗｽﾄ処理
9	部分床義歯	荒研磨～中研磨～適合
10	部分床義歯	リンガルバー双子鉤、維持装置　艶出し研磨
11	部分床義歯	サベイング～設計～ブロックアウト～表面硬化剤塗布～マウント完了まで
12	部分床義歯	リリーフ～リリーフ上に再設計完了 ／ 試験説明
13	部分床義歯	模擬試験　個人講評　⇒修正完了
14	部分床義歯	模擬試験　個人講評　⇒修正完了

科目名	歯冠修復技工学実習２			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations 2			総時間数	90	単　位	3
学　年	２年	学　期	前後期	曜　日	月･水･木･金	時　限	2

担当教員	①高須賀千紘 ②榊原秀憲 ③伊東克浩	実務者経験	②歯科技工士　平成10年12月～歯科技工所を開設し、現在に至る。 ③歯科技工士　令和6年4月～歯科クリニックに勤務し、現在に至る。

学習内容	知識・技術を歯科臨床の場面に適用し、理論と実践を結び付けて理解できる能力と技術力を習得する。 他者の意見を整理し、自分の意見を相手に伝達するために、基本的知識、技能および態度を修得する。
到達目標	各種の歯冠修復物に関する知識を学習し、歯冠修復物製作の技術を習得する。 レジン前装冠、ブリッジを製作することができる。

準備学習 時間外学習	教科書『歯冠修復技工学』（医歯薬出版）におけるブリッジの概要と種類、クラウンとブリッジの具備要件や製作を復習する。
使用教材	教科書『歯冠修復技工学』（医歯薬出版），『歯科技工学実習トレーニング本』（医歯薬出版），　配布プリント
留意点 備　考	歯の形を覚えるために、教科書『口腔･顎顔面解剖学』と専門雑誌『歯科技工』（医歯薬出版）・『QDT』（ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版）の掲載写真等を参考に実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	完成作品の提出後、前期実技試験を行い評価する。後期実技試験を行い評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】			時限
1	作業用模型の製作	歯科技工に必要な作業模型の製作材料の種類と特徴を説明できる。 クラウン・ブリッジの製作順序を説明できる。作業用模型を製作できる。	
2	作業用模型の製作	作業用模型を製作できる。	
3	咬合器へ装着	咬合器の使用手順と調節方法を説明できる。 作業用模型の製作法を説明でき咬合器に作業用模型を装着できる。	
4	ワックスアップ	歯のスケッチにより歯の形態を正確に描写できる。歯の形態を説明できる。ワックスアップの種類と方法を説明できる。レジン前装冠を製作できる。	
5	ワックスアップ	下顎の基本運動の種類と特徴を説明できる。レジン前装冠製作のワックスアップができる。ブリッジ製作のワックスアップができる。	
6	ワックスアップ	機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を説明できる。レジン前装冠とブリッジ製作のワックスアップができる。ポンティックの要件と構造を列挙できる。ポンティックの種類と形態を説明できる。	
7	ワックスアップ	咬頭嵌合位と偏心位の咬合接触を説明できる。レジン前装冠を製作できる。ブリッジを製作できる。ポンティックの適用部位を説明できる。	
8	フレームデザイン	歯冠用硬質レジンと金属との接着の原理・方法を説明できる。歯科用CADソフトウェアを扱いフレームデザインができる。前装部の形態と接着法を説明でき窓開けができる。	
9	埋没	埋没材の種類・性質、埋没操作および鋳型加熱を説明できる。レジン前装冠を製作できる。ブリッジを製作できる。	
10	鋳造	合金の融解と鋳込み方法を説明できる。レジン前装冠製作の鋳造ができる。ブリッジ製作の埋没ができる。	
11	切削・研削・中研磨	切削・研削・研磨用材料と器械の取り扱い方を説明できる。レジン前装冠製作のメタル調整ができる。ブリッジ製作の鋳造～粗研磨ができる。	
12	メタルフレーム調整	フィニッシングラインの形態・形状を説明できる。連結法の種類、適応および用途を説明できる。メタルフレームの調整が出来る。	
13	実技模擬試験・講評	【実技模擬試験・講評】正しい言葉遣いで会話できる。適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。中切歯のワックスアップができる。	
14	前装材の築盛・重合	歯冠用硬質レジンと金属との接着の原理・方法を説明できる。。前装材の築盛・重合ができる。ブリッジ製作における連結法の種類、適応および用途を説明できる。	
15	前装材の築盛・重合	レジン前装冠とブリッジ製作におけるレジン築盛・重合ができる。	

科目名	歯冠修復技工学実習２			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations ２			総時間数	90	単　位	3
学　年	２年	学　期	前後期	曜　日	月･水･木･金	時　限	2

授業計画【テーマ・内容･目標】		
16	前装材の形態修正	歯の形態を説明できる。レジン前装冠とブリッジ製作におけるレジン築盛・重合ができる。前装部の形態修正ができる。
17	前装材の形態修正	歯の形態を説明できる。レジン前装冠とブリッジ製作におけるレジン築盛・重合ができる。前装部の形態修正ができる。
18	研磨・作品提出	補綴装置の仕上げの、表面仕上げの意義と目的を説明できる。 研磨の意義と目的を説明できる。研磨法を説明できる。自己点検自己評価表の作成。
19	前期実技試験講評	【前期実技試験講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎中切歯のワックスアップができる。
20	作業用模型の製作	クラウンの製作順序を説明できる。作業用模型を製作できる。
21	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬①試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第二小臼歯のワックスアップができる。
22	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬②試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第二小臼歯のワックスアップができる。
23	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬③試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第二小臼歯のワックスアップができる。
24	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬④試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第二小臼歯のワックスアップができる。
25	後期実技試験講評	【後期実技試験講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第二小臼歯のワックスアップができる。

科目名	歯科技工実習　4			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology 4			総時間数	120	単　位	4
学　年	2	学　期	後期	曜　日	月～金	時　限	2

担当教員	①髙須賀千紘 ②播本光平 ③嶋田圭佑 ④東　亮太	実務者経験	②歯科技工士　平成14年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。 ③歯科技工士　平成21年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。 ④歯科技工士　平成27年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。

学習内容	オールセラミッククラウンの材料の特性を理解し、フレームをデザインし、陶材を取り扱う。 CAD-CAMシステムを用いてジルコニアフレームのオールセラミッククラウンをデザインする。
到達目標	プレス型オールセラミッククラウン（e.max）を完成する。 CAD-CAMを用いてジルコニアフレームのオールセラミッククラウンを完成する。

準備学習 時間外学習	歯科理工学における陶材の材料特性の関連を復習する。 歯冠修復技工学におけるクラウンのフレーム形態を復習する。
使用教材	配布プリント
留意点 備　考	専門雑誌（歯科技工、QDT等）の掲載写真を参考に歯の色について予習して実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	完成作品で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	特別講義	イボクラール大阪研修センターにてe.maxシステムの概要講義
2	e.max実習	模型製作
3	e.max実習	模型製作
4	e.max実習	ワックスアップ
5	e.max実習	ワックスアップ
6	e.max実習	ワックスアップ　～　スプルーイング
7	e.max実習	埋没　～　加熱　～　プレス
8	e.max実習	埋没　～　加熱　～　プレス
9	e.max実習	埋没　～　加熱　～　プレス
10	特別講義	小林守先生　「歯科技工のやりがい」
11	e.max実習	適合　～　調整
12	e.max実習	適合　～　調整
13	e.max実習	荘村先生　「CAD-CAMの現状と概要」
14	e.max実習	陶材築盛
15	特別講義	末瀬先生　「デジタル歯科技工の現状と概要」

科目名	歯科技工実習　4			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology 4			総時間数	120	単　位	4
学　年	2	学　期	後期	曜　日	月～金	時　限	2

回数	授業計画【内容･目標】	
16	e.max実習	陶材築盛
17	e.max実習	陶材築盛
18	e.max実習	陶材築盛
19	e.max実習	陶材築盛
20	e.max実習	陶材築盛
21	e.max実習	形態修正
22	e.max実習	形態修正
23	e.max実習	ステイニング
24	e.max実習	グレージング・完成
25	CAD-CAM実習	模型製作
26	CAD-CAM実習	模型製作
27	CAD-CAM演習	デザイン・設計
28	CAD-CAM実習	ジルコニアコーピング調整
29	CAD-CAM実習	陶材築盛
30	CAD-CAM実習	陶材築盛
31	CAD-CAM実習	陶材築盛
32	CAD-CAM実習	形態修正
33	CAD-CAM実習	グレージング
34	CAD-CAM実習	グレージング
35	CAD-CAM実習	グレージング・完成

科目名	歯科技工実習 5			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology 5			総時間数	70	単　位	1
学　年	2	学　期	後期	曜　日	月火水木金	時　限	2

担当教員	①杉田順弘 ②大石直之 ③倉田浩二 ④石田真里 ⑤前田博規 ⑥高橋康一 ⑦川本泰世 ⑧林 大介	実務者経験	⑤歯科技工士　平成15年1月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ⑥歯科技工士　昭和61年4月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ⑦歯科技工士　平成28年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。 ⑧歯科技工士　平成8年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。

学習内容	臨床的模型を用いて、製作スケジュールを各自が管理し、定められた症例の装置を完成する。
到達目標	・上下無歯顎に標準的な咬合床や部分床義歯を製作する。 ・上顎無歯顎症例に各工程を経て鋳造床を製作・完成する。シリコーン印象材を用いて耐火模型を製作し、高周波真空圧迫鋳造機でコバルトクロム合金を鋳造する。

準備学習 時間外学習	各製作工程の目的を確認し、使用材料、器具の使用方法を復習する。 製作方法を復習するとともに、自己作品と完成見本作品を比較し、形態や適合精度、機能性の違いを確認する。
使用教材	『有床義歯技工学』最新歯科技工士教本、歯科技工学実習トレーニング(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	教本の掲載写真や図だけでなく、ＱＤＴ等の専門誌の技工物や教官の見本作品を参考に各工程での完成をイメージして実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	提出作品で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	模擬臨床模型実習	上下無歯顎咬合床　　設計～リリーフ～ブロックアウト～レジン圧接
2	模擬臨床模型実習	上下無歯顎咬合床　　形態修正～咬合堤溶着～外形の調整～表面処理・完成
3	模擬臨床模型実習	部分床義歯：人工歯排列～咬合調整
4	模擬臨床模型実習	部分床義歯：歯肉形成
5	模擬臨床模型実習	部分床義歯：フラスコ埋没
6	模擬臨床模型実習	部分床義歯：脱蝋～重合
7	模擬臨床模型実習	部分床義歯：粗研磨～中研磨
8	模擬臨床模型実習	部分床義歯：仕上げ研磨・完成
9	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：設計～リリーフ・ブロックアウト
10	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：シリコーン印象材による複印象採得
11	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：耐火模型の製作～乾燥・表面処理
12	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：ワックスアップ
13	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：スプルーイング～埋没
14	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：鋳造
15	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：割出し～スプルーカット～サンドブラスト処理

科目名	歯科技工実習 5			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology 5			総時間数	70	単　位	1
学　年	2	学　期	後期	曜　日	月火水木金	時　限	2

回数	授業計画【内容･目標】	
16	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：粗研磨(形態修正)
17	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：粗研磨(形態修正)～中研磨
18	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：中研磨
19	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：仕上げ研磨・完成チェック
20	模擬臨床模型実習	鋳　造　床：作品の自己評価アンケート記入・提出

科目名	矯正歯科技工学実習			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Orthodontic Appliances			総時間数	30	単　位	1
学　年	2	学　期	前期	曜　日	金曜日	時　限	2

担当教員	①石田真里 ②小幡宗功	実務者経験	②歯科技工士　令和1年8月～歯科技工所を開設、現在に至る。

学習内容	矯正装置の意義と目的を理解し基本的な製作方法を習得する。
到達目標	各自の口腔模型を用いてホーレーの保定装置を製作する。 複式弾線が鑞着された舌側弧線装置を製作する。

準備学習 時間外学習	各製作工程の目的を確認し、使用材料、器具の使用方法を復習する。 各自の口腔模型で製作する装置は装着感を体験し、自己作品と臨床作品を比較し違いを確認する。
使用教材	『矯正歯科技工学』最新歯科技工士教本(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	教本の掲載写真や図、教官の見本作品を参考に各工程での完成をイメージして実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	提出作品で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	ホーレーの保定装置	実習講義 / 上下歯列の印象採得～台付け
2	ホーレーの保定装置	アダムスのクラスプ屈曲
3	ホーレーの保定装置	接歯唇側線の屈曲
4	ホーレーの保定装置	模型をブロックアウト、ボクシング / レジン築盛
5	ホーレーの保定装置	荒研磨、中研磨、仕上げ研磨 / 口腔内に装着体験
6	舌側弧線装置	実習講義 / 維持バンドに維持チューブを鑞着
7	舌側弧線装置	STロック　脚部の屈曲 / 主線の屈曲
8	舌側弧線装置	主線と脚部の鑞着、研磨
9	舌側弧線装置	自在鑞付けの模擬練習　（主線に補助弾線90°、45°）
10	舌側弧線装置	主線に複式弾線を自在鑞付け、研磨、屈曲、完成

科目名	顎顔面補綴学			必修/選択	必修	授業形式	講義
【英】	Maxillofacial Prosthesis			総時間数	38	単　位	2
学　年	３年	学　期	前期	曜　日	月～金	時　限	2

担当教員	①山本 雅章 ②濱田 智子 ③小松 友子 ④田光 創	実務者経験	①歯科医師、平成19年4月～歯科臨床に携わる、現在に至る。 ②歯科医師、平成16年4月～歯科臨床に携わる、現在に至る。 ③臨床心理士、平成4年4月～総合病院で臨床心理士として臨床に携わる。 ④歯科技工士、平成12年4月～近畿大学附属病院に勤務、現在に至る。

学習内容	顎および顔面欠損治療の意義を理解し、補綴装置の制作方法と患者の心理を学ぶ。
到達目標	顎および顔面欠損治療の意義を理解し、補綴装置の制作方法と患者の心理を理解する。

準備学習 時間外学習	1年時の口腔・顎顔面解剖学の復習が必要。
使用教材	口腔・顎顔面解剖学（医歯薬出版）、配布プリント
留意点 備　考	

成績評価	終講時試験100%で評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	生体色彩学	色彩学概論、皮膚のカラーコーディネート、対比現象、顔の構造と色彩
2	生体材料学	生体材料学の基礎、生体材料の適合と反応
3	感染症の基礎と臨床	感染症の基礎、感染予防
4	患者の心理学	心理学概論、患者心理、障害者心理、喪失体験と深層心理、家族支援心理
5	顎顔面解剖生理学	口腔組織の名称、口腔の軟組織、顔各部の配置とバランス、皮膚
6	顎顔面解剖生理学	顎顔面の筋および脈管、顎顔面を構成する骨
7	顎顔面解剖生理学	歯周組織の生理学、口腔の機能、口腔粘膜の感覚
8	顎顔面病理学	良性腫瘍と悪性腫瘍、鼻・顔面・顎外傷、鼻・副鼻腔の発癌因子
9	顎顔面補綴学	画像診断の基礎
10	顎顔面補綴学	欠損補綴、上下顎欠損補綴
11	顎顔面補綴学	顔面補綴、外傷後の補綴
12	顎顔面補綴学	外科治療の補助装置、放射線治療の補助装置、口腔内インプラント
13	顎顔面技工概論	定義、歴史と背景、症例の分類と装置、症例の分類と装置、チーム医療

科目名	有床義歯技工学実習 4			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Removable Dentures 4			総時間数	70	単　位	2
学　年	3	学　期	前期	曜　日	月～金	時　限	2

担当教員	①大石直之 ②石田真里 ③前田博規 ④小川博和	実務者経験	③歯科技工士　平成15年1月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ④歯科技工士　平成6年4月～歯科技工所を開設、現在に至る。

学習内容	総義歯、部分床義歯の特色を理解し、技術の向上を目指す。
到達目標	人工歯排列、歯肉形成を制限時間内に完成する。 金属床フレームを用いて咬合床を製作し、個性的排列および想定年齢に適した歯肉形成を習得する。 維持装置(クラスプ)を制限時間内に製作する。

準備学習 時間外学習	過去の基本実習の製作方法を復習するとともに、作品の修正と反復トレーニングを行う。
使用教材	『有床義歯技工学』最新歯科技工士教本、歯科技工学実習トレーニング(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	教本の掲載写真や図、教官の見本作品を参考に各工程での完成をイメージして実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	提出作品、実技試験で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	全部床義歯	上顎・金属床義歯　咬合床の製作
2	全部床義歯	上顎・金属床義歯　咬合床の咬合器装着
3	全部床義歯	総義歯（上顎前歯～臼歯排列）
4	全部床義歯	総義歯（下顎6,7,5,4～前歯排列）
5	全部床義歯	総義歯（上下顎排列完了）
6	全部床義歯	総義歯（WAX盛上げ、S字状隆起、舌房の形成）
7	全部床義歯	総義歯（上下唇頬側の形成 &口蓋ヒダ付与）
8	全部床義歯	模擬試験（排列～形成完成）
9	全部床義歯	模擬試験・個人講評～修正
10	全部床義歯	上顎金属義歯　個性的排列
11	部分床義歯	後期試験対策　作業用模型の製作
12	全部床義歯	上顎金属義歯　老齢歯肉形成
13	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　サベイング～設計
14	全部床義歯	上顎金属義歯　個性的排列
15	全部床義歯	上顎金属義歯　老齢歯肉形成

科目名	有床義歯技工学 4			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Removable Dentures 4			総時間数	70	単　位	2
学　年	3	学　期	前期	曜　日	月～金	時　限	2

回数	授業計画【内容･目標】	
16	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　ブロックアウト～リリーフ
17	全部床義歯	後期実技試験　上下・人工歯排列
18	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　支台装置の製作
19	全部床義歯	後期実技試験　上下・人工歯排列　完了　／　上下・歯肉形成
20	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　支台装置の製作
21	全部床義歯	後期実技試験　上下・歯肉形成　完了
22	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　支台装置の製作
23	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　支台装置の製作
24	部分床義歯	部分床義歯(模擬臨床症例)　支台装置の製作　完了

科目名	歯冠修復技工学実習３			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations 3			総時間数	90	単　位	3
学　年	３年	学　期	前後期	曜　日	月・水・金	時　限	2

担当教員	①髙須賀千紘 ②小塩寛至	実務者経験	②歯科技工士、平成16年1月～歯科技工所を開設、現在に至る

学習内容	歯科材料の性質，模型の製作，原型の製作，レジン成形，セラミック成形，金属成形，補綴装置の仕上げ，加工技術などの方法および知識を理解し技術を習得する。 知識・技術を歯科臨床の場面に適用し、理論と実践を結び付けて理解できる能力と技術力を習得する。
到達目標	歯科用CAD-CAMシステムの操作方法を習得するためにアクリル樹脂(PMMA)のフルクラウンを完成する。 全技協認定実技試験に合格する。

準備学習 時間外学習	教科書『歯冠修復技工学』（医歯薬出版）におけるクラウンとブリッジの具備要件，製作，CAD/CAMシステムを復習する。
使用教材	教科書『歯冠修復技工学』（医歯薬出版），『歯科技工学実習トレーニング本』（医歯薬出版），　配布プリント
留意点 備　考	教科書『歯科理工学』,専門雑誌『歯科技工』（医歯薬出版）・『QDT』（ｸｲﾝﾃｯｾﾝｽ出版）等を参考に実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	完成作品の提出後、前期実技試験を行い評価する。後期実技試験を行い評価する。

授業計画【テーマ・内容･目標】		
1	作業用模型の製作	歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を概説できる。CAD/CAMシステムのスキャナーを習得しスキャンデータを作成できる。クラウンの製作順序を説明できる。作業用模型を製作できる。
2	スキャンデータ作成	CAD/CAMシステムのスキャナーを習得しスキャンデータを作成できる。 作業用模型の製作法を説明でき咬合器に作業用模型を装着できる。
3	ワックスアップ	歯のスケッチにより歯の形態を正確に描写できる。前臼歯のﾜｯｸｽｱｯﾌﾟができる。 機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を理解し咬頭嵌合位と偏心位の咬合接触を説明できる。
4	モデリングデータ作成	歯科用CADソフトウェアが扱える。モデリングデータを作成できる。
5	モデリングデータ作成	歯科用CADソフトウェアが扱える。モデリングデータを作成できる。
6	モデリングデータ作成	歯科用CADソフトウェアが扱える。モデリングデータを作成できる。
7	ワックスアップ	歯のスケッチにより歯の形態を正確に描写できる。前臼歯のﾜｯｸｽｱｯﾌﾟができる。 機能咬頭、非機能咬頭および被蓋関係を理解し咬頭嵌合位と偏心位の咬合接触を説明できる。
8	加工データ作成	歯科用CADソフトウェアで作成したモデリングデータをCAMソフトウェアを扱い加工データの作成ができる。
9	実技模擬試験・講評	前期実技模擬試験(上顎第一大臼歯のﾜｯｸｽｱｯﾌﾟができる)。歯科用CADソフトウェアで作成したモデリングデータをCAMソフトウェアを扱い加工データの作成ができる。
10	加工データ作成	電子メールの送受診および転送ができる。 加工データをNCデータとして加工装置に送ることができる。切削加工装置を扱うことができる。
11	切削・研削・中研磨	切削加工されたPMMAの調整研磨ができる。
12	研磨	歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を概説できる。歯科補綴装置等のトレーサビリティを説明できる。切削加工されたPMMAの調整研磨ができる。
13	作品提出	歯科用CAD/CAMシステムの構成と特徴を概説できる。歯科補綴装置等のトレーサビリティを説明できる。切削加工されたPMMAの調整研磨ができる。自己点検自己評価表の作成。
14	前期実技試験講評	【前期実技試験講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。上顎第一大臼歯のワックスアップができる。
15	作業用模型の製作	【ﾃｸﾆｶﾙｺﾝﾃｽﾄ模型製作】 クラウンの製作順序を説明できる。作業用模型を製作できる。

科目名	歯冠修復技工学実習３			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology for Fixed Dental Prostheses and Restorations ３			総時間数	90	単　位	3
学　年	３年	学　期	前後期	曜　日	月・水・金	時　限	2

授業計画【テーマ・内容･目標】		
16	ワックスアップ	下顎前歯臼歯のワックスアップができる。
17	特別講義	寺尾先生　「現在の歯科治療の流れについてーインプラント補綴，歯周，咬合ー」
18	ワックスアップ	適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。下顎全歯のワックスアップができる。
19	特別講義	寺尾先生　「現在の歯科治療の流れについてーインプラント補綴，歯周，咬合ー」
20	ワックスアップ	適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。下顎全歯のワックスアップができる。
21	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬①試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。
22	実技模擬試験・講評	【後期実技模擬②試験・講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。
23	後期実技試験講評	【後期実技試験講評】適切な伝達法を選択できる。 歯の形態を説明できる。下顎第一大臼歯のワックスアップができる。

科目名	歯科技工実習 6			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology 6			総時間数	120	単　位	4
学　年	3	学　期	後期	曜　日	水木金	時　限	2

担当教員	①大石直之 ②石田真里 ③倉田浩二 ④船渡善夫 ⑤高橋康一 ⑥小川博和 ⑦榊原秀典 ⑧小幡宗功 ⑨川本泰世 ⑩北浦 純	実務者経験	④歯科技工士、昭和58年1月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ⑤歯科技工士、昭和61年4月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ⑥歯科技工士、平成6年4月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ⑦歯科技工士、平成10年12月～歯科技工所を開設、現在に至る。 ⑧歯科技工士、平成15年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。 ⑨歯科技工士、平成28年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。 ⑩歯科技工士、平成17年4月～臨床技工に携わり、現在に至る。

学習内容	卒業を見据えた臨床的模型を用いて、製作スケジュールを各自が管理し、定められた症例の装置を完成する。
到達目標	・歯冠修復専攻：インレー、コア、クラウン、ブリッジ、前装冠などの技工物を製作する。 ・有床義歯専攻：部分床義歯、鋳造床、金属床義歯、義歯修理などの技工物を製作する。 ・総 合 専 攻 ：歯冠修復物、有床義歯を数症例製作する。

準備学習 時間外学習	各製作工程の目的を確認し、使用材料、器具の使用方法を復習する。 製作方法を復習するとともに、自己作品と完成見本作品を比較し、形態や適合精度、機能性の違いを確認する。
使用教材	『有床義歯技工学』最新歯科技工士教本、歯科技工学実習トレーニング(医歯薬出版)、および配布プリント
留意点 備　考	教本の掲載写真や図だけでなく、ＱＤＴ等の専門誌の技工物や教官の見本作品を参考に各工程での完成を イメージして実習に取り組むことが望ましい。

成績評価	提出作品で評価する。

回数	授業計画【内容･目標】	
1	模擬臨床模型実習	《総合専攻のみ記載(例)》・・・計画は各自学生が検討し組み立てる。 実習講義　指示書配布～記入方法／使用機材・材料などの説明／模型配布
2	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：個人トレー製作　設計～リリーフ・ブロックアウト～スペーサー付与 歯冠修復症例　：模型製作
3	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：個人トレー製作　トレー用レジン圧接～ハンドル付与 歯冠修復症例　：模型製作
4	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：個人トレー製作　研磨・完成 歯冠修復症例　：模型製作
5	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：基礎床製作　設計～リリーフ・ブロックアウト～トレー用レジン圧接 歯冠修復症例　：模型製作
6	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：咬合床製作　形態修正・研磨～咬合堤溶着～形態修正・完成 歯冠修復症例　：咬合器装着
7	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：咬合採得を想定した教官の咬合チェック～咬合器装着 歯冠修復症例　：咬合器装着
8	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：サベイング～ブロックアウト・リリーフ 歯冠修復症例　：咬合器装着
9	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　ワックスアップ 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
10	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　ワックスアップ 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
11	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　スプルーイング～埋没 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
12	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　鋳造 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
13	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　割出し～サンドブラスト～スプルーカット 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
14	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：大連結子、維持装置の製作　粗研磨～中研磨～仕上げ研磨 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
15	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：人工歯排列～咬合調整 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没

科目名	歯科技工実習 6			必修/選択	必修	授業形式	実習
【英】	Practice of Dental Technology 6			総時間数	120	単　位	4
学　年	3	学　期	後期	曜　日	水木金	時　限	2

回数	授業計画【内容･目標】	
16	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：歯肉形成 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
17	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：フラスコ埋没(1次～3次) 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
18	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：脱蝋～重合 歯冠修復症例　：ワックスアップ～スプルーイング～埋没
19	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：割出し～粗研磨 歯冠修復症例　：鋳造～割出し～サンドブラスト～スプルーカット
20	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：中研磨～研磨用レーズ(仕上げ)研磨 歯冠修復症例　：鋳造～割出し～サンドブラスト～スプルーカット
21	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：鋳造～割出し～サンドブラスト～スプルーカット
22	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：鋳造～割出し～サンドブラスト～スプルーカット
23	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：鋳造～割出し～サンドブラスト～スプルーカット
24	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：適合・メタル調整～研磨
25	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：適合・メタル調整～研磨
26	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：適合・メタル調整～研磨
27	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：適合・メタル調整～研磨
28	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：硬質レジン築盛～形態修正～研磨・完成
29	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：硬質レジン築盛～形態修正～研磨・完成
30	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：硬質レジン築盛～形態修正～研磨・完成
31	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例： 歯冠修復症例　：硬質レジン築盛～形態修正～研磨・完成
32	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：自己評価・感想シートおよび作品の提出開始 歯冠修復症例　：　〃
33	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：自己評価・感想シートおよび作品の提出開始 歯冠修復症例　：　〃
34	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：自己評価・感想シートおよび作品の提出開始 歯冠修復症例　：　〃
35	模擬臨床模型実習	部分床義歯症例：自己評価・感想シートおよび作品の【最終提出】 歯冠修復症例　：　〃